

# 教育と文化

みんなで  
考えよう  
同和問題  
No. 237

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

## 子育ての合い言葉は『愛ことば』

青少年に関する事件が報道されるたびに、しつけや子育てのあり方が問われます。さて、私たち『大人』には何が足りないのでしょうか。

充実感に満ちた子どもは『自己肯定感』を持っていると言われます。辞書によると、自己肯定感とは『自分のあり方を積極的に評価できる感情』『自らの価値や存在意義を肯定できる感情』と書かれています。分かりやすく言うと、「自分は愛されている」「自分は大切な存在」「自分は価値のある人間」と思える気持ちのことです。子どもの自発性や創造性にもつながっていきます。

「自己肯定感を育む」と言うと、何だか難しいことのように聞こえるかもしれませんが、決してそんなことはありません。親や周りの人と深く関わり、愛情あふれるたくさんの言葉をかけてもらう経験

が、自己肯定感を育むことにつながるので。

忙しいと、つい子どもとの会話がおろそかになってしまいます。子どもが話をしたがっていると感じたときは、向き合ってみてあげてください。子どもは安心感を覚えます。

自己肯定感を持つ子どもは、自分に自信を持ち、何事も前向きに挑戦することができます。自分ができるようになります。自分のことが好きになった子どもは、周りの人に対しても優しい気持ちで接することができます。ようになります。

「あなたを生んでよかった」「生まれてきてくれてありがとう」「かわいい」「大好き」「がんばっているね」。

子育ての合い言葉は『愛ことば』です。幸せになるために生まれてきた子どもたちに、たくさんの『愛ことば』を贈ってあげましょう。

## 郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ③

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 3186

### 筒井城跡

筒井城跡は、波多津町筒井字上戸平に所在する『城後山』上に立地する城跡です。

上空から見ると翼を広げた鳥のような形をした丘陵の尾根部分にそれぞれ曲輪が配され、曲輪と曲輪の間には堀切と堅堀が配置されています。また、ふもとからは堅堀を設けるなど、実戦的な造りとなっています。

筒井城はその創建の年代や利用していた氏族が誰だったのか、確かな史料が残っていません。しかしながら、ふもとの筒井集落に残されている石造物の紀年銘から、1557年頃には集落が存在していたと

考えられ、筒井城も同じ頃には存在していた可能性がります。

現地は図中の赤丸印の場所から徒歩で城跡を見て回ることができます。主だった曲輪を見て回るのに約1時間を要します。現在は山林に覆われ足元が悪い場所もありますが、地形をどのように活用した山城かがよく分かります。訪問する場合は、低山登山程度の服装が適当です。



↑筒井城跡位置図（青線）